

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践 現在の理念が設立当時と変わらず、住み慣れた街で安全、安心、快適に楽しい生活をする。 と変わっていない、もっと踏み込んでひかり川西の特色ある、理念にしたい。	QOLの向上や今までの生活水準を落とさない 施設での生活を目標に職員と理念を作り上げたい	全体会議での話し合い 話し合いで取り上げられた事はその日から何項目でも実行して行きたい。	6ヶ月
2	3	地域貢献 がほとんどできていないのが実態。 どのような貢献ができるか考量している。	まず自治会には毎日1回独居の高齢者のお宅のベルを鳴らし安否を確認することを、提案している。	何度も提案しているので、今後も自治会の会の時など行って行きたい。	6ヶ月
3	35	災害対策 を細かく出来ていない。 マニュアルがない。	今後防火委員(施設職員)が中心になって災害の際や、自身の際のマニュアル作りをしていく	安全対策委員と防火委員の定期的なミーティング を実施する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。